

京都府生協連

ニュース

2002年 8月 7日

No. 39 (通算105号)

京都府生活協同組合連合会

京都市中京区烏丸夷川東南角せいきょう会館2階

TEL. 075-251-1551

FAX. 075-251-1555



2002ピースリレー京都——平和行進



第13回国際協同組合デー京都集会

CONTENTS

1. 京都府生協連6~7月度のおもな活動
2. 京都府商工部との定期懇談会
3. 2002ピースリレー京都——平和行進
4. 第13回国際協同組合デー京都集会
5. おもな行事のお知らせ(8~10月度)

京都府生協連

6～7月度の主な活動

行政・関係団体との関係強化のとりくみ

- ①今年度、京都府行政防災訓練が9月7日(土) 亀岡市などで実施されることを受け、連絡会議に参加しました。
- ②6月7日、京都市ゴミ減量推進協議会総会が開かれ、01年度のまとめと02年度の方針が決定されました。小峰専務理事があらたに理事に選出されました。
- ③6月11日、国連協会京都ユニセフ協力委員会が発足し、吉田会長が委員に選任されました。
- ④6月16日、京商連総会が開かれ、来賓参加しました。
- ⑤6月18日、大阪合同庁舎で300名が参加し、近畿米粉食品普及推進協議会の発起人会と設立総会が開かれました。規約、活動方針、予算が決定され、尾松事務局長が理事に選出されました。
- ⑥6月29日、京のアジェンダ21フォーラムの総会および環境関連行事(環境まちづくり交流会2002など)がもたれました。
- ⑦7月19日、京と地球の共生府民会議が開かれました。
- ⑧6月2日、京都生協では「鳥取 新産直牛試食会」を京都市平安会館で開き、150名が参加、鳥取県農林部部長らが出席されました。
- ⑨7月3日、京都府協同組合連絡協議会主催により、第13回国際協同組合デー京都集会在福知山市で開催されました。
- ⑩7月23日、京都府生協連・理事長懇談会が開催されました。



- ⑪7月24日、京都府商工部消費生活課のご協力をえて、京都府生協役職員研修会が開催されました。京都大学大学院経済学研究科助教授・若林靖永氏が「時代の変化と生協運営・事業の今日的なあり方」をテーマに講演しました。

京都府生協役職員研修会



京都府商工部消費生活課・八島一美課長よりごあいさつ

- ⑫7月30日、京都府商工部との定期懇談会が開催されました。

日生協をはじめ、連帯強化のとりくみ

- ①6月13日～14日、第52回日生協総会が東京で開催されました。(小峰専務理事が代議員参加)。
- ②6月23～24日、くらしと協同の研究所の総会が開かれました。

平和・環境・暮らし・食の安全を守る活動

- ①6月21日～26日、ピースリレー2002京都——平和行進に取組みました。
- ②6月29日、京都生協丹後支部で「両丹平和の集い」が開催されました。平和学習(講師:加藤成美さん)、寸劇などのほか、鳥取県生協の代表を迎え、日本海コースの出発式をおこないました。
- ③6月11日「くらしの助け合い総会」(京都生協)が150名の参加で開催されました。京都府生協連より尾松事務局長が参加し、「夢のある高齢期を迎える食プロジェクト」の取組みを報告しました。
- ④6月23日、気候ネットワークの総会が開かれました。
- ⑤6月29日、国際会議場で武部農林大臣が出席して「『食』と『農』を語り合う——タウンミーティング」が開かれ、近畿2府4県から500名が参加しました。「食と農の再生プラン」を中心に、BSE問題、食の安全対策、農業の再生課題などについて意見交換がおこなわれました。
会場発言として京都府生協連尾松事務局長が、法改正・新行政組織の設置にむけての「5つの要求」と地方行政の役割について提起しました。

京都府商工部・京都府生協連 定期懇談会が開催されました

7月30日、京都府商工部・京都府生協連定期懇談会が京都府庁内・旧館2C会議室で開催されました。

各生協からは、総代会の報告とともに、2002年度課題、事業内容について報告し、ご理解いただきました。京都府生協連からは、府行政への「提案」をおこない、意見交換・懇談しました。

京都府より、商工部奥原部長、消費生活課八島課長、井上主幹、池田課長補佐、金子主事、伊藤専門員の参加をいただきました。



京都府商工部・奥原恒興部長よりごあいさつ

生協からは、京都生協小林理事長（京都府生協連副会長）、谷口理事会室渉外担当、京都府庁生協小川常任理事、大学生協京都事業連合酒井専務理事、京都医療生協田中専務理事、京都府生協連吉田会長、小峰専務理事、尾松事務局長、坂本事務局次長が参加しました。

＜「提案」事項＞

1、食の安全施策について

(1) 府民の食品の安全と安心を確保するための行政施策や仕組み、府民が参加する食の安全活動や食生活の見直し活動に関わる施策の確立をはかっていたこと。

(2) そのために、行政関係者、生産者、消費者、流通にかかわる関係者などが意見をだしあい、京都らしい食の安全施策やとりくみ方針を議論、検討する「食べ物の安全施策懇話会」（仮称）の設置。

2、農業・漁業・林業の振興と製品の普及・拡大、都市と農村の交流施策について

(1) 農業・漁業振興策の充実と京都府内製品の普及・拡大にあたる生協の事業（京都府内産直フェアのとりくみなど）について援助してください。

(2) 京都府生産消費連携推進協議会のもとですすめられている「京都産安全・安心システム」（仮称）の研究及び具体化についてご協力ください。

(3) 都市と農村の交流事業について。

3、災害対策について

(1) 緊急車両の事前登録制度をおこなってください。

(2) 「協定」にもとづく物資数量計画の具体化。

(3) 災害時における配送計画の具体化。

(4) 「協定」にもとづく連絡会議を継続してひらいてください。

(5) 近畿圏における広域総合防災システムの検討

4、生協の育成・強化について

(1) 京都府生協役員研修会、京都府生協連監事研修会については、京都府としても積極的に位置付け、講師や会場手配についてのご協力。

(2) 公認会計士同行による指導検査を、生協育成の立場から継続実施してください。

(3) 各種審議会等の構成内容を見直し、消費者代表として生協の代表を加えてください。

5、消費者行政、環境施策について

(1) 京都府消費生活審議会の提言「京都府における今後の消費者行政のあり方」、また、食品安全に関わる新法などを想定して、消費者行政の充実強化について計画的なとりくみをすすめてください。

(2) 京都府消費生活科学センターの安全検査機能、消費者相談・啓発体制のいっそうの充実について

(3) 「京都消費者フォーラム」の開催にあたっては、消費者団体・グループの自主性・自発性をいかし、より充実した消費者啓発行事になるように。

(4) 生協事業がすすめる環境対応（ごみ減量・リサイクル、再生品市場の拡大、低公害車の導入など）について支援してください。当面、食品ごみのリサイクルシステムづくりに関わって、京都府として情報提供、実験的事業構築等について。

(5) 家電リサイクル法については、リサイクル費用等の販売価格への上乗せ・前払い方式への変更を国にむけてはたらきかけてください。

(6) 京都府としても、「京都議定書」発効にともない、京都府地球温暖化防止活動推進センターが早く実現するように検討をいそいでください。

(7) 第3回世界水フォーラムの取り組みについてのご支援と連携事業の取り組みの具体化

6、福祉施策について

(1) 生協のホームヘルパー（二級）育成講座について、ひきつづき講師や実習受け入れ施設のあっせんについてご援助ください。

(2) 介護保険のもとでの生協の在宅介護支援事業（訪問介護、訪問看護、福祉用具の貸与レンタル事業）にご理解いただき、必要な事項について。

(3) 高齢者や障害者の自立支援の活動（配食サービス、視覚障害者むけの共同購入商品カタログ「声のキャンパス」、くらしの助け合いの会の活動など）にご援助ください。

(4) 子育て支援（エンゼルプラン）策について。

7、男女共同参画について

(1) いっそう、行政施策の充実を期待します。

(2) 京都の生協が行う普及啓発活動につきまして、講師派遣、資料提供など、ご協力ください。

(3) 「あけぼのフェスティバル」につきましては実行委員会に参画できるようにご配慮ください。

ピースリレー2002京都——平和行進

多彩な取り組み、広がる平和への願い

6月21日 滋賀県から京都へ



京都での出発集会、日本海コースの引継ぎ式を京都生協コープ石田での集会室で開催。ピースリレー2002京都実行委員長・吉田智道さん（京都府生協連会長理事）が開会あいさつをおこなったのち、滋賀県から横断幕の引継ぎと、日本海コースの出発と引継ぎ式がおこなわれました。リレー行進者を代表して伊藤浩之さん（大阪いずみ市民生協）から力強い報告がありました。滋賀・京都双方の組合員から、それぞれ手話入りのコーラスが披露されました。



コープ石田を出発、粟田神社で国民行進と合流、京都府生協連専務理事・小峰耕二さん、京都生協専務理事・門脇馨さんを先頭に、祇園石段下から四条河原町を行進、京都市役所前でまとめ集会をおこない、京都医療生協専務理事田中弘さんがあいさつしました。

「歓迎のつどい」開催



替え歌作詞家 野田宗一さん（反核産業人の会）の2002年バージョンは、『おさかな天国』でした。

22日 京都市内コース下鴨を出発

コープ下鴨でおこなわれた出発集会では、京都生協理事長・小林智子さんがあいさつされたほか、左京平和やってみる会から、今年の見学報告がありました。午前は、コープきぬがさまで北大路を行進。午後は「北のつどい」が開催されました。つどいでは、人形劇や「振袖の少女」の同級生である藤田晴子さんのお話などがありました。



リレー行進者は、夜開かれた「沖縄連帯・夏至まつり」に参加、壇上で紹介をうけました。



23日 国際平和ミュージアムを見学

リレー行進者は、国際平和ミュージアムを見学、平和友の会の会員のみなさんから、心温まる歓迎をうけ、ていねいな展示説明をいただきました。見学ののち、「交流部会」のみなさんと懇談。行進者からは「ボランティアによるマン・ツー・マンの説明への感謝と感激」がのべられ、平和への願いをよりよくしました。



24日 洛西から八幡へ



雨模様のなか、京都生協コープらくさい前で出発集会がおこなわれました。京都生協西京行政区委員・川崎さんがあいさつ、共同作業所・はるの里のなかまからも報告がありました。集会ののち、洛西ニュータウンを向日市にむかって行進スタート、長岡京市から大山崎町へとすすみました。さらに、コープ男山から八幡市内を行進、市役所前でまとめ集会がありました。



長岡京市市役所前集会のようす



大山崎町役場前集会のようす



コープ男山前であいさつする小畑哲雄さん

25日 宇治から城陽市、京田辺市へ

宇治市役所前で出発集会をおこなったのち、行進は、城陽市、さらに京田辺市へとすすみました。城陽市では京都生協城・久・井行政区の佐々木さんが、あいさつをおこないました。



京田辺市でのまとめ集会の後、リレー行進者を京都生協の組合員が「激励のつどい」へ招待。すいとんや、手づくりのケーキ・アイスクリーム、抹茶などで歓迎しました。



26日 いよいよ奈良県へ引継ぎの行進!

府内最後の行進、木津町から奈良坂を越え、奈良の般若寺へ。木津町の出発集会では、京都生協相楽行政区委員会の渡辺さんがあいさつをおこないました。

引継ぎ集会では、やましろ健康医療生協理事長・佐藤京子さんが激励のあいさつをおこないました。



29日 両丹平和のつどい開催される



6月29日、京都生協丹後支部で「両丹平和の集い」が開催され、有事法制についての学習（講師：加藤成美さん）や寸劇などをおこないました。あわせて鳥取県生協の代表を迎え、日本海コースの出発式をおこないました。

TOPICS 第13回国際協同組合デー京都集会開かれる

「地産地消運動とつくる大切、とる大切、たべる大切」をテーマに

第13回国際協同組合デー京都集会は7月3日、「地産地消運動とつくる大切、とる大切、たべる大切」をテーマに、京都府立中丹勤労者福祉会館で開催されました。主催は、京都府協同組合連絡協議会（JA京都中央会、京都府漁連、京都府森連、京都府生協連）。参加者は170名と過去最高となりました。



（午前の部）

女性交流会は4連から94名が参加、「くらし・食・人・いきいき——協同組合の元気をつくる女性たち」をテーマに開かれました。

司会を藤井久美（京都府森林組合連合会主事）さんが、開会のあいさつを京都生活協同組合理事長・京都府生協連副会長の小林智子さんがおこないました。



「元気になる」活動の報告として、①「地域でいきいきとくらす」をテーマに舞鶴市林業女性グループ山ゆり会・野田洋子さんが、②「京都府漁婦連の活動」をテーマに京都府漁業協同組合婦人部連合協議会・和田智恵子さんが、③「小さな山里の大きな夢づくり」をテーマにJA京都市女性部大西孝子さんが、④「府内でとれたものを府内で消費する大切」をテーマに、京都生活協同組合理事・竹原由海子さんが、報告されました。



また「食の安全をすすめるとりくみの現状」を京都府生協連理事・廣瀬佳代さんが報告しました。

報告ののち、「もっと聞きたいこと、もっと知りたいこと」カードが数多く提出され、カードをもとに率直な意見交換がおこなわれました。

最後に、まとめと閉会のあいさつを京都府漁業協同組合婦人部連合協議会委員長・和田智恵子さん、JA京都女性組織協議会会長・大村律子さんがおこない、閉会しました。



京野菜の産地（綾部市賀茂なす産地）見学会は、18名が参加し、圃場の見学とともに生産者との交流をおこないました。

（午後の部—13時～16時）全体会

司会は京都府森林組合連合会課長・倉貫博行さんがおこないました。

開会にあたり、JA京都中央会専務理事の小瀧茂さんからあいさつがあり、「昨年来のBSE問題、表示問題など、JAなど協同組合の信頼が揺らいでいる。協同組合が力を合わせ、国民の信頼を取り戻す取組みが必要だ。本集会をセレモニーにせず、協同組合の意義をほりさげ、再確認し、さらなる協同組合の協同の力で前進につなげる場にしよう」とのべました。

農林水産省近畿農政局黒木幾雄局長からの祝電が披露されました。



講演と話題提供

講師に地産地消ネットワークみえ代表・石田正昭氏（三重大学生物資源学部教授）を迎え、「生産者と消費の良い関係づくり—地産地消ネットワークみえの取

組み」についてお話しをいただきました。講演要旨は、以下のとおり。

地産地消ネットワークみえは、①使命(ミッション)が生産者と消費者の地域での共生、②目的(ビジョン)が資源・環境問題、食品の安全性問題への積極的関与となっている。その特徴として、①民間のネットワーク、②実際に活動している人たち(運動家)の結集、③自主的活動に対する積極的な支援である。



地産地消ネットワークみえの課題として、①県産品の自給率向上(旬を食べよう)、②顔と顔の見える流通による安心システムの構築、③生産履歴の情報開示による安全システムの構築をめざしている。

活動内容としては、①地産地消フォーラムの開催、②ネットワークみえの会員管理、③情報発信(ホームページ、ニュースレター、メールマガジン)、④各種イベント参加、⑤会員のプロジェクト活動支援など。

6つの戦略的プロジェクトとして、①学校を通じた食農教育の展開、②循環型農業の構築、③新しい表示制度の検討、④直売所(朝市)の情報発信、⑤産地や料理店のガイドマップづくり、⑥郷土料理の発見と料理教室の開催、などが県民の運動としてすすめられている。

パネルディスカッション

つづいておこなわれたパネルディスカッションでは、コーディネーターに京都府立大学大学院農学部研究科助手・中村貴子さんを迎え、各協同組合から特徴的な活動報告と討論がおこなわれました。

京都生活協同組合常任理事・高田艶子さんは、生協の「食の安全を求める社会的システムや法改正の運動」の紹介と、府内産直、とりわけ北ブロックと綾部小畑地区との田植え・稲刈り・生産者交流を通しての、顔の見える取組みの事例を紹介しました。

JA京都中央会地域振興対策部長・牧克昌さんは、専業農家である父親の千枚漬けの材料となる聖護院



かぶらの価格が年によって大きく乱高下し、価格が暴落したときは、子供心に父親の顔をみるのがつらかったことを紹介。農産物価格の安定が生産者の「安定」をもたらすこと、近年さらに安全なものが求められていることなどを指摘し、京都府生協連、JAらによる「京都府生産消費推進連絡協議会」の活動の意義をのべました。

美山町森林組合代表理事常務・中西昭雄さんは、「美山町における地域活性化と森林・林業」の取組みとして、木材加工センターの取組みを紹介。「木の良さ」を知ってもらうためには「顔の見える関係づくり」が重要であり、「京・杉の家」という取組みをはじめていること、施工者と森林組合、設計者が一堂に会して、相互に意見を交流し始め、徐々であるが対等に何でも言い合える関係ができてきたことを報告しました。



野原漁業協同組合の武田康司さんは、「獲得計画——事業への取組み」を報告。サザエ採捕事業を第1とし、それに続く干物加工販売や朝市、干物加工体験や漁業体験など、第2、第3の野原ファン獲得計画への取組みが、野原地区全体のイメージアップにつながり、地元民宿の利用客の増加に結びつくとともに、組合員である漁家の収入の増加、経営の安定につながることをのべました。

討論では、地産地消をどのようにすすめ、食料自給率をどう高めるか、そのためには何が必要で課題か、農産物、国産材などの価格の変動、価格問題をどう考えるか等、活発な討論がおこなわれました。



最後に閉会のあいさつを京都府漁業協同組合連合会代表理事会長・上田功さんがおこない、閉会しました。

おもな行事のお知らせ

8月～10月

第2回京都府協同組合職員体験・交流学校

主 催：京都府協同組合連絡協議会
(J A京都中央会・京都府漁業協同組合連合会・
京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合
連合会)
日 時：2002年8月23日(金)～24日(土)
会 場：京都生協南部物流センター、京都協同食品
プロダクト、京都生協店舗ほか

2002年度京都府総合防災訓練

主 催：京都府防災会議、亀岡市防災会議、京北町防
災会議、美山町防災会議、園部町防災会議、八木
町防災会議、丹波町防災会議、日吉町防災会議、
瑞穂町防災会議、和知町防災会議
日 時：9月7日(土) 7:00～11:30
発災対応型訓練：亀岡市、京北町、美山町、園部町、
八木町、丹波町、日吉町、瑞穂町、和知町の
各分散会場
主会場訓練：亀岡市内主会場
(保津橋左岸上流河川敷)
開会式：亀岡市内主会場(保津橋左岸上流河川敷)

南丹地域学習会

—阪神淡路大地震から学ぶ地域の防災と生協の役割

日 時：8月21日(水) 10:00～12:00
会 場：京都生協南丹支部集会室
①あいさつ 京都府生協連災害対策本部・小川 正
②学習：「阪神淡路大震災と地域の防災、大災害時の
生協のはたす役割」
講師：兵庫県生活協同組合連合会事務局次長 井
上賢一氏(元コープこうべ災害ボランティアセ
ンター本部長)
③2002年度京都府総合防災訓練について
講師：京都府亀岡振興局
④京都府総合防災訓練への参加の意義とボランティ
ア要請
講師：京都府生活協同組合連合会事務局長 尾松
数憲

「第3回世界水フォーラム」生協実行委員会

日 時：2002年9月13日(金)
13:30～15:30
会 場：滋賀会館特別集会室C
(事務局) 滋賀県生活協同組合連合会
京都府生活協同組合連合会

第3回世界水フォーラムが2003年3月16日
～23日、滋賀県、京都府、大阪府を会場に開催さ
れます。世界は今、水の危機に直面しているといわ
れています。国内においても、琵琶湖の赤潮の発生、
貯水池での濁水問題、河川や海の汚れ(漁業への影
響)など、くらしと水をめぐってさまざまな問題が
おきています。

アジアでは初の開催となる第3回世界水フォー
ラムは、「水問題解決へ向けた具体的な行動の出発点」
になることが期待されています。

第33回京都消費者大会

主 催：京都消費者団体連絡協議会
日 時：2002年9月28日(土)
13:30～16:00
会 場：ハートピア京都
テーマ：京都消費者団体連絡協議会設立30年記念
行事

第14回KYOのあけぼのフェスティバル ワークショップ(未定)

主 催：KYOのあけぼのフェスティバル
実行委員会
日 時：10月12日(金)
13:30～15:30
会 場：京都府民総合交流プラザ(京都テルサ)
※京都府生協連男女共同参画委員会も参加応募し
ました。現在、実行委員会で企画審査中。

第2回勤労者健康スポーツフェスティバル

主 催：京都労働者福祉協議会勤労者健康フェスティ
バル実行委員会
日 時：10月20日(日)
会 場：京都府立丹波自然運動公園
問い合わせについては、京都府生協連まで